

# 要人往来

今年上半期における出国日本人数は前年同期比3.8%増を記録し、上半期としては2012年以来4年ぶりにプラス成長となりました。今月5日にはリオ五輪も開幕し、海外旅行機運が高まることも期待される中、各国からの要人も日本市場に熱い視線を送っています。



**ポール・ペニク／ジャマイカ政府観光局局長(中央右)**  
(5月31日に中村前理事長を訪問)

「ジャマイカは、リゾートだけでなく、自然や文化、音楽、コーヒーなど、様々な観光資源があり、SIT需要の開発に努めています」



**アンドリュー・ホグ／オーストラリア政府観光局ノースアジア地区局長**

(5月26日に田川会長を訪問)

「ブリスベン、アデレードなどの新しいデスティネーションが開発されて魅力が増す一方、まだ日本市場でのアピールが足りないため、今後の新しいニーズに合わせてPRしていきたい」



**ベルトゥー・フロロンス／フランス・パリ5区区長(中央)**  
(6月1日に田川会長を訪問)

「パリ5区は観光素材が多い場所ですが、日本からの旅行需要を取り戻すため、文化・美術・発見といった新しいテーマの商品を創り出していきたいと思ひます」



**エルウッド・ドナルドソン／駐日バハマ大使**

(7月19日に志村理事長を訪問)

「カリブ海の島々の中でも、バハマは宿泊施設を中心に観光インフラが整っています。バハマの島々はユニークな雰囲気・文化を持っているので、日本でもそうした魅力をPRしていきたいと思ひます」



**バレリー・スピチェンコ／ロシア・オーロラ航空コマーシャルディレクター(左から2人目)**

(7月6日に志村理事長を訪問)

「オーロラ航空は将来に向けて路線拡大を計画しており、日本からの需要はビジネス客が主体となっていますが、今後は、日本人旅行者の需要も拡大していきたいと思ひます」



**ベネティア・セブダンディ／駐日ルワンダ大使**

(6月10日に中村前理事長を訪問)

「ルワンダは、マウンテン・ゴリラ・ウォッチングに加えて、コーヒー、文化など、豊富な観光資源があります。最近、エチオピアや中東経由でアクセスが容易になっており、日本からの旅行者を増やすため、視察ツアーの実施やツーリズムEXPOジャパンへの出展を計画しています」



**ンディオイ・ムリワナ・ムティティ／駐日ザンビア大使(中央)**

(7月13日にJATA本部を訪問)

「ザンビアは大自然や民族文化といった観光素材が豊富で、世界で一番大きいコウモリの営巣地やユニークな宿泊施設でも知られています。日本でもデスティネーションとしての認知度を高めていきたい」



**胡淳／中国・重慶空港集团有限公司総経理補佐官(左)**

(6月7日に中村前理事長を訪問)

「重慶空港経由で中国国内の様々な観光地を訪問できるので、今後、海外からの旅行者が増加するものと見込まれています。重慶／日本間の路線で利用者が年々増えており、日本からの需要も拡大していきたい。空港で利用できるサービスの改善も図りたいと思ひます」